

# SDA●AWARD

## 第60回 日本サインデザイン賞 応募のご案内

募集期間

2026.4.1(水) - 5.29(金)



<https://sda-award.org>

**SDA●**  
Japan Sign Design Association

主催  
公益社団法人日本サインデザイン協会  
email : [info@sda-award.org](mailto:info@sda-award.org)

## 開催案内

日本サインデザイン賞とは	01
主催、後援(予定)	01
年間スケジュール、対象作品、贈賞	02
審査員	03
審査基準、応募料	04
最終審査会、審査結果正式発表、贈賞式、作品集・年鑑掲載	05

## 応募の手引き

応募の準備	06
記入事項の準備	06
画像データの準備	09
映像データの準備(任意)	10
応募者登録	11
作品登録	12
作品情報の登録	12
画像・映像データの登録	15
関係者情報の登録	16
登録の確認	17
支払手続(応募)	18
応募受付完了	21
応募についての注意事項	21
個人情報保護に対する取り組み	21

## 資料[要綱・要領]

日本サインデザイン賞実施要綱	別1
日本サインデザイン賞応募要領	別3
日本サインデザイン賞審査要領	別5

# 開催案内

## 日本サインデザイン賞とは

公益社団法人日本サインデザイン協会(以下SDA)が主催する日本サインデザイン賞(通称SDA賞)は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた日本で唯一のサインデザインを対象とした顕彰事業です。

サインデザイン(Sign Design)とは、複雑化する身の回りの環境を、より分かりやすく魅力的にするために、「人に伝える情報」を整え、かたちづくる創造行為です。コミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、そのデザインは多様な広がりを見せています。

SDAはSDA賞の審査を通じて質の高いサインデザインを評価し、サインデザインの価値や役割を多くの人と共有し、社会活動に寄与することを使命としています。

皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

公益社団法人日本サインデザイン協会  
会長 竹内誠

## 主催

- ・公益社団法人日本サインデザイン協会

## 後援(予定)

- ・経済産業省
- ・公益財団法人日本デザイン振興会
- ・日本商工会議所
- ・日本経済新聞社
- ・一般社団法人日本屋外広告業団体連合会
- ・一般社団法人日本空間デザイン協会
- ・一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
- ・一般社団法人日本商環境デザイン協会
- ・公益社団法人日本サイン協会
- ・公益社団法人商業施設技術団体連合会
- ・一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
- ・公益社団法人全日本広告連盟
- ・公益社団法人日本アドバイザーズ協会
- ・公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
- ・公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会
- ・特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会

(順不同)

## 年間スケジュール

作品応募	2026年4月1日(水)～5月29日(金) 24:00
一次審査	2026年6月5日(金)～14日(日) ----- WEB審査
二次審査	2026年6月19日(金) ----- 東京都内にて開催予定
最終審査事前採点	2026年6月24日(水)～7月1日(水) -- WEB審査
最終審査・特別賞選考	2026年7月4日(土) ----- 東京都内にて開催予定
地区デザイン賞審査	2026年7月10日(金)～19日(日)
審査結果正式発表	2026年9月初旬
贈賞式	2026年12月4日(金) ----- 東京都内にて開催予定
SDAウェブサイトでの公開	2026年12月初旬
作品集発行・年鑑掲載・パネル巡回展	2026年12月～

## 対象作品

2025年(令和7年)5月1日から2026年(令和8年)4月30日までの1年間に完成したサイン。

## 贈賞

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞(予定) 1作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン金賞 4作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン銀賞 15作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン銅賞 30作品(賞状)

日本サインデザイン賞入選 100作品(賞状)

日本サインデザイン招待審査員賞 各1作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザインSDA審査員賞 各1作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン地区デザイン賞 各地区5作品以内(賞状)

※入賞(大賞・金賞・銀賞・銅賞)及び入選の作品数については最終審査会で決定。

日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会賞 2点以内(賞状)

日本サインデザイン特別賞・プラチナ賞 数点(賞状)

※特別賞は、日本サインデザイン協会会員の選出と選考会を経て、サインデザインの普及・啓発に顕著な功績のあった団体または個人などに授与されます。

## 審査員

審査員は下記により構成されます。

一次審査	審査員長、SDA審査員、地区審査員
二次審査	審査員長、SDA審査員
最終審査	審査員長、SDA審査員、招待審査員
特別賞選考	審査員長、SDA審査員、公益財団法人日本デザイン振興会理事長

### 審査員長



竹内 誠

TREI株式会社 代表取締役  
日本サインデザイン協会会長

### SDA審査員:5名

SDA会員の中から選任された審査員(順不同、敬称略)



渡辺 太郎

エモーショナルスペースデザイン 代表  
アートディレクター  
日本サインデザイン協会 副会長



山田 晃三

月影デザインコンサルティング 代表  
デザインコンサルタント  
日本サインデザイン協会 副会長



廣村 正彰

廣村デザイン事務所 代表取締役  
グラフィックデザイナー



平手 健一

有限会社寺田平手設計 取締役社長



平野 滄太郎

有限会社平野滄太郎デザイン研究所  
代表取締役  
デザインディレクター

### 地区審査員:18名

SDA各地区(北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄)理事(代表幹事)ならびに各地区代表幹事が選出した日本サインデザイン賞選考委員各1名

### 招待審査員:7名

(順不同、敬称略)



経済産業省

商務・サービスグループ 文化創造産業課  
デザイン政策室



ボー・リンネマン

コントラプункト  
クリエイティブディレクター



小林 章

モノタイプ社  
クリエイティブタイプディレクター



花澤 裕二

日経デザイン 編集委員



吉泉 聡

TAKT PROJECT 代表



折原 美紀

株式会社ODO(オド) 代表取締役  
デザイナー



赤松 佳珠子

株式会社シーラカンズアンドアソシエイツ代  
表取締役  
法政大学デザイン工学部建築学科教授

## 審査基準

**社会性：** 景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。

**情報性：** 発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。

**先進性：** 発想、製作、プロセス等においてこれまでにない新しい取り組みを評価する。

**審美性：** 造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。

上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮が求められます。

## 応募料

応募料は、作品1点につき¥11,000(本体¥10,000+消費税¥1,000)です。

応募料にはデザイン意図(コンセプト)と2点の画像データの審査料を含みます。

3点以上の画像データを提出する場合、1点につき¥1,650(本体¥1,500+消費税¥150)の追加審査料が加算されます。

映像データを提出する場合、1点につき¥19,800(本体¥18,000+消費税¥1,800)の追加審査料が加算されます。

例) 画像3点+映像1点の場合

$¥10,000 + ¥1,500 + ¥18,000 = ¥29,500 + \text{消費税}10\% ¥2,950 = ¥32,450$

応募料は支払手続時に自動計算されます。支払手続完了前であれば、作品情報の編集、画像・映像の追加・変更・削除、関係者の編集が可能です。

## 応募料に含まれるものと追加費用

応募料には審査料の他、下記の費用が含まれます。

### 入賞・入選作品の賞状：作品代表者とクライアント(各1通)

応募時に関係者として登録された方に限り追加の賞状のお申込が可能です。追加作成費用は1枚につき¥4,400(本体¥4,000+消費税¥400)です。

### 金賞・銀賞・招待審査員賞・SDA審査員賞入賞作品のトロフィー：作品代表者(1点)

応募時に関係者として登録された方に限り追加のトロフィーのお申込が可能です。追加作成費用は一基につき¥33,000(本体¥30,000+消費税¥3,000)、授与と同じ表記の場合は一基につき¥27,500(本体¥25,000+消費税¥2,500)です。

### 大賞・経済産業大臣賞受賞作品のトロフィー：作品代表者(1点)

大賞・経済産業大臣賞のトロフィーの追加作成はできません。

### 第60回日本サインデザイン賞作品集：作品代表者とクライアント(各1冊)

追加のご購入が可能です。

## 最終審査会

最終審査は、事前採点 (WEB) を行った上で、審査員 (審査員長、SDA審査員、招待審査員:計13名) を招集し、審査会を開催します。

二次審査で選出された入賞候補50作品について、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって各賞を確定します。

審査会は公開で行います。見学を希望する場合は、SDA事務局にお問合せください。

## 審査結果正式発表

審査結果は、9月初旬 (予定) にSDAウェブサイトで公開すると共に、応募者全員にご連絡します。

発表前の問い合わせ等には一切応じられません。

## 贈賞式

入賞 (大賞・金賞・銀賞・銅賞・招待審査員賞・SDA審査員賞) の受賞者に、贈賞式のご案内を送付します。贈賞式の費用は応募料に含まれます。期日までに欠出のご連絡をお願いします。交流会が開催される場合の参加費用については、贈賞式のご案内と共にお知らせします。

## 作品集・年鑑掲載

受賞作品を掲載した『第60回日本サインデザイン賞作品集』をSDAより発行します。

また、入賞以上の作品を収録した『年鑑日本の空間デザイン2027 ディスプレイ・サイン・商環境』が、2026年12月 (予定) に発行されます。

『年鑑』の編集は、株式会社六耀社及び空間デザイン機構の組織団体であるSDA、一般社団法人日本空間デザイン協会 (DSA)、一般社団法人日本商環境デザイン協会 (JCD) からなる年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。

# 応募の手引き

## 応募の準備

作品に応募する前に、下記の各項目を確認し、必要な資料等を準備しておくことをお勧めします。

## 記入事項の準備

エントリーサイトでは、作品に関する基本的な情報を記入します。

予めテキストエディター等で文章を作成しておくことをお勧めします。

### 作品情報

#### • 作品代表者名

受賞した場合、作品代表者が受賞者になります。審査時、審査員には公開されません。作品のデザイン制作に携わった代表者1名を登録してください。

連名は受け付けていません。連名で記入した場合は、先頭のみを受け付けます。法人名での登録も可能です。

所属の入力欄には、会社名・法人名・屋号等を記入し、法人格(株式会社 | 有限会社 | 合資会社 | 公益社団法人 | 一般社団法人 | 学校法人 | など)がある場合は必ず含めてください。支店や所属部署、役職は記入しないでください。

(【例】○:株式会社SDA、×:SDA東京支店デザイン部)

- 氏名(漢字)
- 氏名(英字)
- 所属(漢字)
- 所属(英字)

#### • 作品名(プロジェクト名)

- 作品名(漢字)
- 作品名(カナ)
- 作品名(英字)

#### • 施設正式名称

作品が設置された施設の正式名称(固有名称)

- 施設正式名称(漢字)
- 施設正式名称(英字)

※作品名に施設名が含まれている場合も登録してください。

広域に設置した場合や施設が複数ある場合は、代表的な施設名としてください。

記入例:「□□市立○○会館」、「□□百貨店○○店」、鉄道路線全体で設置した場合「□□線 ○○駅ほか20駅」など。

#### • 作品所在地

- 都道府県(選択、海外所在の場合は「海外」を選択してください)
- 住所(海外の場合は、国名と住所を記入してください)

#### • 完成年月

完成年月(選択)

※作品の完成年月の定義は、竣工引渡し、オープン(開館・開店)、どちらか任意のものとしませんが、年度を跨いで複数応募することのないよう、関係者間で調整してください。

• 分類選択

空間特性による分類とデザイン特性による分類の2項目について、それぞれ選択肢からチェックしてください。

- 分類選択-1 空間設定による  
 選択肢から該当する項目を選択(複数選択可)
- 分類選択-2 デザイン手法による  
 選択肢から該当する項目を選択(複数選択可)

分類選択の目的

サインはそのデザイン領域が多岐に渡るため、実際の設置された場所がどんな所で、何についてデザインされたものなのか写真からだけでは理解し難い場合があります。あらかじめ設定空間とデザイン手法についての情報があることで、審査員がしっかりと絞り込んだ作品評価をすることができます。

<p><b>空間設定による分類</b></p> <p>1つ以上選択してください。</p> <p>複合施設など応募されている空間が限定できない場合は、複数の空間を選択してください。</p> <p><b>公共空間</b></p> <p>公共目的のために作られた施設で、公営、民営を問いません。</p> <p>例:幼稚園 保育所 認定こども園 小学校 中学校 高等学校 高等専門学校 専修学校 図書館 美術館 博物館 鉄道駅 空港 客船ターミナル バスターミナル 病院 診療所 郵便施設 庁舎 支所 税務署 警察署 保健所 消防署 ハローワーク 社会保険事務所 年金機構 体育館 公会堂 集会場 火葬場、展示場、など</p> <p><b>商業空間</b></p> <p>商業目的のために作られた施設。</p> <p>例:百貨店 マーケット 物品販売店舗 飲食店 料理店 カフェー バー 理髪店 美容院 パン屋 米屋 コンビニエンスストア 銀行 不動産屋 劇場 映画館 演芸場 自動車修理工場 ボーリング場 スケート場 スキー場 ゴルフ場 カラオケ 旅館 ホテル 一般有料駐車場 など</p> <p><b>特定空間</b></p> <p>限定された利用者のための施設</p> <p>例:住宅 共同住宅 事務所 神社 寺院 教会 学習塾 教習所 老人ホーム 工場 倉庫 畜舎 養殖場 テレビ局 撮影所 車庫 卸売市場 ゴミ焼却場など</p> <p><b>空間設定なし</b></p> <p>空間を特定できないもの</p> <p>例:映像デバイス コンピューター画面 スマートホンアプリ カーナビゲーション 仮想空間、研究・開発 他</p> <p>上記「公共、商業、特定空間」で該当しない施設、及び空間設定が不明な場合は、この分類を選択してください。</p>	
---	--

<p><b>デザイン手法による分類</b></p> <p>複数選択可です。</p> <p>該当するデザイン手法について、選択してください。</p>	
表示、表札	エンターテイメント
銘板 名称 室名 場所名 注意 警告 禁止など	コンサート 演劇 映画 ゲーム 遊園地など
案内、誘導	観光
信号 標識 方向表示 案内表示 地図 図解表示 矢羽根など	観光案内板 観光ポスター、パンフレット 法被など
ユニバーサル	まちづくり
高齢者、障害者、外国人に対する対応など	官民連携事業 コミュニティ形成など
広告、プロモーション	都市計画
ネオンサイン 屋外広告物 交通広告 車体広告 バナー 大型ビジョン デジタルサイネージ POPなど	景観計画 街路計画 情報施設計画など
展示	建築
展示会 展覧会 ディスプレイ エキシビジョンなど	ファサード スペース 外装 内装など
催し、祭り	照明
イベント フェスティバル 見本市など	環境照明 演出照明など
	ランドスケープ
	植栽 造園 外構 公園 橋梁など

ストリート・ファニチャー 街灯 ベンチ バス停 シェルター ポラードなど	インсталレーション 体験芸術 芸術装置 オブジェ
車両 車両ラッピング、マーキングなど	ウェブコンテンツ ホームページなど
コミュニケーション・グラフィックス 環境グラフィック ピクトグラム	音響、音声 音声案内 音声誘導 音環境
ヴィジュアル・アイデンティティ、ブランディング ロゴタイプ シンボルマーク コーポレートカラー アプリ ケーション展開など	技術研究・開発 サインに関わる研究や創意工夫、アイデアを展開させ て開発した新技術
タイポグラフィ オリジナル書体 文字レイアウト 筆文字 カリグラフィー レタリング	インターフェイス ユーザーインターフェイス プログラム
アートワーク パブリックアート 彫刻 絵画 写真	

## • デザイン意図(コンセプト)

デザインの概要・特徴を、簡潔にまとめてください。

※作品の制作に関わった関係者名(建築家等、施設の設計者、サイン以外の分野のデザイナーなど、個人名・法人名含む)は記載しないでください。(NG例:建築家〇〇氏設計□□会館のサイン計画を担当した。)

※発注者(クライアント)名は記載して構いませんが、自社制作の場合、制作者がわからないように記載してください。(NG例:SDA株式会社本社社屋のサインシステムを社内で開発した。)

•和文表記(200文字以内)

## 関係者

関係者とは、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方、作品の発注者及び応募画像の撮影者が該当します。最大15名まで登録できます。

### • 職能・役割

ディレクション、デザイン、施工、クライアント、撮影のほか、建築設計、インテリアデザイン、グラフィックデザイン、照明デザイン、企画、プランニング、建築施工、エージェンシー、プロデュースなどから選択または記入(和文)

### • 所属(会社名・法人名・屋号など正式名称):和文・英文

所属(会社名・法人名・屋号など正式名称)

※法人格(株式会社 | 有限会社 | 合資会社 | 公益社団法人 | 一般社団法人 | 学校法人 | など)がある場合は必ず含める

※担当者名(個人名)を登録せず、法人名のみとする場合は、法人にチェックを入れてください。

### • 担当者氏名(1フォームに1名のみ):和文・英文

「ディレクション」、「デザイン」、「施工」、「クライアント」、「撮影」に該当する方を(該当する方がいない場合を除き)必ず登録してください。クライアント、施工については法人名のみを登録してください。

前述以外の職能(役割名)で、作品に直接関わった方を登録することも可能です。関係者は最大15名(社)が登録できます。法人名のみまたは、担当者名のみでの登録は可能です。

法人の入力欄には、支店や所属部署、役職は記入しないでください。

同じ役割で複数の担当者がある場合は、役割ごとに分けて記入してください。

撮影者などクレジット表記を必要とする場合は、必ず登録してください。

同一の方が、複数の職能・役割を担当した場合、それぞれに登録してください。

例)ディレクター兼デザイナー 山田一郎 の場合

ディレクション 山田一郎

デザイン 山田一郎

同一の職能・役割を複数の方で担当した場合、それぞれに登録してください。複数名を記入された場合は、先頭のみを受付けます。

例)デザイナー 山田一郎、田中花子 の場合

デザイン 山田一郎

デザイン 田中花子

×:デザイン 山田太郎、田中花子

応募時に関係者として登録されていない個人や法人は、受賞者として認められません。受賞後に関係者の追加や変更はできず、賞状やトロフィーの発行もできません。応募の段階で十分ご注意ください。

※賞状・トロフィー・年鑑・作品集には、記入いただいた通りに掲載されます。法人格(株式会社 | 有限会社 | 合資会社 | 公益社団法人 | 一般社団法人 | 学校法人 | など)がある場合は、必ずこれらを含めた、正式名称で記載してください。

## 画像データの準備

画像データは、原則として作品を撮影したカラー写真の画像データ、または現像した銀塩写真のスキニングデータとします。作品そのものがデジタルデータの場合(例: デジタルサイネージ、スマートフォン用サインシステムの表示用データなど)も含まれます。

下記の点に注意して、画像ファイルを準備してください。

### 画像ファイルの仕様規定

ファイルの点数: -----自由

ファイル形式: -----JPEG(拡張子:jpgまたはjpeg)

ファイルのサイズ: -----1点あたり1MB以内

画像の画素数・アスペクトレシオ(縦横比): 自由

画像のカラーモード:-----RGBを推奨

ファイル名: -----半角英数字のみ(かな漢字等の2バイト文字は用いないこと)

画像ファイルサイズの縮小ツールをお持ちでない場合は、「画像 圧縮」「画像 縮小」などのキーワードでWEBを検索してツールを探してみてください。

### コンセプトシートの作成(任意)

画像データのうち1点はコンセプト説明用として、複数の写真・チャート・図版・文章による構成を可とします。

コンセプト説明用以外の画像データは、それぞれ1点の写真によって構成してください。写真説明のためのチャート・キャプション(簡単な説明文)を挿入することは可とします。複数の写真を含んだ場合は違反になりますので、ご注意ください。

画像ファイルの仕様は、通常の画像ファイル(上記)と同様です。PDF等は応募できません。

コンセプト説明用画像データ 1ファイル	コンセプト説明用以外の画像データ 2ファイル目以降														
<p><b>OK</b> コンセプト説明用として、 複数写真・図版・文章による構成</p> <table border="1"><tr><td>写真A</td><td>文章</td><td rowspan="3">複数の写真 + 文章/図版</td></tr><tr><td>写真B</td><td rowspan="2">図版</td></tr><tr><td>写真C</td></tr></table> <p>文章中に作品関係者情報を 記述しないでください</p>	写真A	文章	複数の写真 + 文章/図版	写真B	図版	写真C	<p><b>OK</b> 写真1枚による構成</p> <table border="1"><tr><td>作品写真</td><td>1枚の写真 + 文章</td></tr><tr><td>文章</td></tr></table>	作品写真	1枚の写真 + 文章	文章	<p><b>NG</b> 複数の作品写真による構成</p> <table border="1"><tr><td>写真B</td><td>写真A</td><td rowspan="2">複数の写真</td></tr><tr><td>写真C</td></tr></table>	写真B	写真A	複数の写真	写真C
写真A	文章	複数の写真 + 文章/図版													
写真B	図版														
写真C															
作品写真	1枚の写真 + 文章														
文章															
写真B	写真A	複数の写真													
写真C															
	<p><b>OK</b> 作品説明用の図版を 組み合わせる</p> <table border="1"><tr><td>図版</td><td>作品 写真</td><td rowspan="2">1枚の作品写真 + 図版</td></tr><tr><td>文章</td></tr></table> <p>図版: スケッチ、図面、模式図など</p>	図版	作品 写真	1枚の作品写真 + 図版	文章	<p>同じ写真の 別アングル</p> <table border="1"><tr><td>写真A 別アングル</td><td>写真A</td></tr></table>	写真A 別アングル	写真A							
図版	作品 写真	1枚の作品写真 + 図版													
文章															
写真A 別アングル	写真A														
	<p><b>OK</b> 作品説明用の画像を 組み合わせる</p> <table border="1"><tr><td>説明 画像</td><td>作品 写真</td><td rowspan="2">1枚の作品写真 + 説明画像</td></tr><tr><td>文章</td></tr></table> <p>説明画像: 製作過程や改修前の様子など</p>	説明 画像	作品 写真	1枚の作品写真 + 説明画像	文章	<p>同じ写真の 部分拡大</p> <table border="1"><tr><td>写真A 部分拡大</td><td>写真A</td></tr></table>	写真A 部分拡大	写真A							
説明 画像	作品 写真	1枚の作品写真 + 説明画像													
文章															
写真A 部分拡大	写真A														
		<p><b>NG</b> 作品関係者情報を入れる</p> <table border="1"><tr><td>作品写真</td><td>ロゴや社名</td></tr><tr><td>文章</td></tr></table>	作品写真	ロゴや社名	文章										
作品写真	ロゴや社名														
文章															

## 画像ファイル作成にあたっての注意事項

常識的な範囲での補正（露光や色温度の微調整、トリミング等）は可能ですが、意図的に現実の作品と異なる見え方となるような加工（色調の変更、画像の合成等）は失格となりますので注意してください。

応募できる写真はカラー写真のみです。白黒写真（デジタル加工によるモノクローム化も含む）は使用できませんので注意してください。

CGやイラスト等は原則として使用できません。

作品の表現上、キャプション等、個々の写真の説明のための文字表示が必要な場合は、画像データへテロップ状に挿入してください。この場合、写真データに余白を追加することは認められません。

作品の表現に必要な場合、システム図やダイアグラム等の図版を登録することができますが、この場合は写真同様、JPEG形式の画像データとしてください。

キャプションには、クライアント以外の関係者の氏名・法人名などを記載しないでください。画像には、法人のロゴマーク等を入れないようご注意ください。

違反が認められた画像は、審査資料から除外します。

## 映像データの準備(任意)

映像データは、原則として作品を撮影したカラー動画としてください。作品そのものがデジタル映像の場合（例：デジタルサイネージ、スマートフォン用サインシステムの表示用データなど）の動画も含まれます。

下記の点に注意して、映像ファイルを準備してください。

### 映像ファイル作成の仕様規定

ファイルの点数：-----自由

ファイル形式：-----JH264/AAC形式のMP4データ（拡張子：mp4）

ファイルのサイズ：-----1点あたり20MB以内

映像の画素数：-----横1920pixel、縦1080pixel以内

映像の長さ：-----60秒以内

ファイル名：-----半角英数字のみ（かな漢字等の2バイト文字は用いないこと）

## 映像ファイル作成にあたっての注意事項

常識的な範囲での補正（露光や色温度の微調整等）は可能ですが、意図的に現実の作品と異なる見え方となるような加工（色調の変更、CG等との合成等）は失格となりますので注意してください。

作品の意図を表現する上で必要な場合に限り、ハイスピード再生、スローモーション再生等は認められます。

作品を説明するためのテロップやナレーションを付加することは可能ですが、音サインとして作品自体が発するもの以外の効果音や音楽等は審査の対象となりません。

その他、映像としての演出効果等は審査の対象となりません。

キャプションには、クライアント以外の関係者の氏名・法人名などを記載しないでください。画像には、法人のロゴマーク等を入れないようご注意ください。

違反が認められた映像は、審査資料から除外します。

# 応募者登録

## 初めて応募される方

日本サインデザイン賞ウェブサイト <https://sda-award.org/> 上部のメニューより [応募者登録] を選択し、応募者登録をしてください。登録が完了すると、あなたの [応募者ページ] が作成されます。ログインパスワードは大切に保管してください。

SDA ● 日本サインデザイン賞 English

### 👤 応募者登録 ユーザー情報の入力

氏名

氏名 (漢字) <b>必須</b>	姓 <input type="text"/>	名 <input type="text"/>
氏名 (カナ) <b>必須</b>	セイ <input type="text"/>	メイ <input type="text"/>
氏名 (英字) <b>必須</b>	氏名英字 (姓) Lastname <input type="text"/>	氏名英字 (名) Firstname <input type="text"/>

SDA会員

非会員  会員

所属

会社名 (漢字)	会社名 <input type="text"/>	✓
会社名 (英字)	company name <input type="text"/>	✓
所属部署・役職	所属部署・役職 <input type="text"/>	✓

連絡先

国内  海外

郵便番号 <b>必須</b>	半角数字 (ハイフンなし) <input type="text"/>	!
住所 <b>必須</b>	<input type="text"/>	✓
	上記の続き 番地・建物・部屋番号など <input type="text"/>	✓
電話番号 <b>必須</b>	日中、連絡のつきやすい電話番号を記載してください。 <input type="text"/>	!
携帯電話番号	<input type="text"/>	✓

ログイン情報

ID (メールアドレス)	<input type="text"/>	!
パスワード	半角英数字8~16文字 <input type="text"/>	!

## 昨年までにWEB応募された事がある方

2015年(第49回日本サインデザイン賞)以降応募時に登録された方は、登録済みのID(メールアドレス)・パスワードをそのままご使用になれますので [応募サイト](#)よりログインして応募してください。

アカウント登録情報が1年以上更新されていない場合「アカウント登録情報を更新してください」のアラートが出ますので、所属部署・電話番号等変更がないか必ずご確認ください。

ログイン パスワードを忘れた場合

### ➔ 応募者ログイン

ログインしたままにする

**ログイン**

---

ご登録がお済みでない方 **応募者登録**

## 作品登録

[応募サイト](#)よりログインして登録を行います。

応募期間のみ「+作品登録」ボタンが表示されます。



## 作品情報の登録

応募の準備で用意した「作品情報」の項目を入力してください。

- 作品代表者名

🏠 >> 作品情報の登録

### i 作品情報の登録

作品代表者 **審査時非公開**

❗ 作品のデザイン制作に携わった代表者1名。受賞した場合の「受賞者代表」となります。 作品代表者について ✕

氏名 (漢字) **必須**

氏名 (英字) **必須**

所属 (漢字)

法人格 (株式会社 | 有限会社 | 合資会社 | 公益社団法人 | 一般社団法人 | 学校法人 | など) がある場合は必ず含める

所属 (英字)

• 作品名(プロジェクト名)

作品名

作品名(漢字) **必須**

作品名(カナ) **必須**

作品名(英字) **必須**

• 施設正式名称

施設正式名称

施設正式名称(漢字)

施設正式名称(英字)

• 作品所在地

作品所在地

都道府県 **必須**

住所 **必須**

• 完成年月

完成年月

完成年月 **必須**

• 分類選択

分類選択

分類選択-1 **必須**  公共空間  商業空間  特定空間  空間設定なし  
\*複数選択可

分類選択-2 **必須**  表示、表札  案内、誘導  ユニバーサル  広告、プロモーション  展示  
\*複数選択可  催し、祭り  エンターテイメント  観光  まちづくり  都市計画  
 建築  照明  ランドスケープ  ストリート・ファニチャー  車両  
 コミュニケーション・グラフィックス  
 ヴィジュアル・アイデンティティ、ブランディング  タイポグラフィ  
 アートワーク  インスタレーション  ウェブコンテンツ  音響、音声  
 技術研究・開発  インターフェイス

[分類について](#)

• デザイン意図(コンセプト)

デザイン意図(コンセプト)

**必須**

0文字

**記入完了**

[↑](#)

全ての項目を記載したら[記入完了]をクリックしてください。

応募作品詳細(応募票)が作成されます。

下へスクロールし、[画像/映像の編集]をクリックします。

🏠 >> 📄 作品一覧 >> 応募作品詳細

登録されました。 ×

[i 作品情報](#) [🖼️ 画像](#) [👥 関係者](#)

## 応募作品詳細 (応募票)

[🖨️ 応募票の印刷](#)

### i 作品情報

**作品代表者** 審査時非公開

① 作品のデザイン制作に携わった代表者1名。受賞した場合の「受賞者代表」となります。 [作品代表者について](#) ×

所属	名前
株式会社SDA	サイン花子
SDA co., ltd.	Hanako Sign

作品名 (漢字) SDA本社サイン計画

作品名 (カナ) エスディーイーホンシャサインケイカク

作品名 (英字) SDA Head Office Signage Plan

施設正式名称 **デザイン意図**

SDA本社ビル 日本サインの聖地、SDA本社のサイン計画。

SDA Head Office Building

作品所在地

東京都千代田区神田和泉町2-9

完成年月

2026年03月

分類選択-1

公共空間, 特定空間

分類選択-2

表示、表札、案内、誘導、ユニバーサル、  
広告、プロモーション、ヴィジュアル・アイ  
デンティティ、ブランディング

[📄 作品情報の編集](#)

### 🖼️ 画像

画像/映像を登録してください。 ×

[📄 画像/映像の編集](#)

# 画像・映像データの登録

応募の準備で用意した「画像データ」と「コンセプトシート(任意)」、「映像データ(任意)」をアップロードしてください。

[ファイルを選択]し、アップロードボタンをクリックします。

ファイルは複数まとめてアップロードできます。(合計20MB以内、それ以上になる場合は複数回に分けてアップロードしてください。)

出版社等が著作権を所有する画像映像が含まれる場合は[著作権について通知する]ボタンよりお知らせください。

🏠 >> 📄 作品一覧 >> 📄 SDA本社サイン計画 (応募票) >> 📄 画像・映像

i 作品情報 🖼️ 画像 👤 関係者

## SDA本社サイン計画

### 🖼️ 画像/映像の追加



- ファイルサイズ：1MB以内
- 拡張子：.jpg
- ファイル名：半角英数のみ



- ファイルサイズ：20MB以内
- 拡張子：.mp4
- ファイル名：半角英数のみ
- コーデック：H.264/AAC
- 再生時間：60秒以内
- 映像サイズ：横1920px以内 縦1080px以内

• ファイルは複数まとめてアップロードできます。(合計20MB以内、それ以上になる場合は複数回に分けてアップロードしてください。)

• 出版社等が著作権を所有する画像映像が含まれる場合は下記よりお知らせください。

著作権について通知する ▼

ファイルを選択    **ファイル未選択**

**アップロード**

i 作品情報 🖼️ 画像 👤 関係者

画像・映像のアップロードが完了したら、右上または、右下の[関係者]をクリックします。

応募作品詳細(応募票)が表示されますので、[関係者情報の編集]をクリックします。

## 👤 関係者

📌 受賞後、作品集などに掲載されるクレジットです。応募受付後の追加・変更は一切できません。 関係者について 🔄 ✕

作品制作関係者として、「ディレクション、デザイン、クライアント、施工、撮影」に該当する方を、必ず登録してください。 ✕  
その他に、建築設計、インテリアデザイン、グラフィックデザイン、照明デザイン、企画、プランニング、建築施工、エージェンシー、プロデュースなど作品に直接関わった方を登録してください。

**🔄 関係者の編集**

# 関係者情報の登録

応募の準備で用意した「関係者情報」の項目を入力してください。

※応募時に関係者として登録されていない個人や法人は、受賞者として認められません。受賞後に関係者の追加や変更はできず、賞状やトロフィーの発行もできません。応募の段階で十分ご注意ください。

🏠 >> ≡ 作品一覧 >> SDA本社サイン計画 (応募票) >> 関係者の編集

i 作品情報 🖼️ 画像 👤 関係者

## SDA本社サイン計画

### 👤 関係者の登録 注意

🚫 受賞後、作品集などに掲載されるクレジットです。応募受付後の追加・変更は一切できません。 関係者について 📄 ✕

入力例 ▼

職能・役割	所属 会社名・法人名・屋号など正式名称 <small>法人格（株式会社   有限会社   合資会社   公益社団法人   一般社団法人   学校法人   など）がある場合は必ず含める</small>	担当者氏名
ディレクション ▼	<input type="checkbox"/> 法人名のみ 例：株式会社〇〇〇〇 英語表記	1フォーム1名づつ 英語表記
デザイン (必須) ▼	<input type="checkbox"/> 法人名のみ 例：株式会社〇〇〇〇 英語表記	1フォーム1名づつ 英語表記
施工 (必須) ▼	<input type="checkbox"/> 法人名のみ 例：株式会社〇〇〇〇 英語表記	1フォーム1名づつ 英語表記
クライアント ▼	<input type="checkbox"/> 法人名のみ 例：株式会社〇〇〇〇 英語表記	1フォーム1名づつ 英語表記
撮影 (必須) ▼	<input type="checkbox"/> 法人名のみ 例：株式会社〇〇〇〇 英語表記	1フォーム1名づつ 英語表記

- 入力フォームを1名分削除    + 入力フォームを1名分追加

登録

### 🖼️ 関係者の表示順 / 編集 / 削除

ドラッグアンドドロップで関係者の並べ替えができます。並べ替え後必ず保存してください。 ✕

# 登録の確認

応募作品詳細（応募票）を表示（ホーム画面から作品一覧をクリック）し、各作品の詳細ページで応募登録内容を確認してください。詳細ページ右上の[応募票印刷]をクリックすると印刷ができます。

## 作品の修正・変更

応募作品詳細（応募票）の[作品情報の編集]、[画像/映像の編集]、[関係者の編集]の各ボタンをクリックすると修正・変更ができます。

支払手続前であれば、何度でも変更ができます。画像・映像の差替も可能です。

🏠 >> 📄 作品一覧 >> 応募作品詳細

i 作品情報 🖨️ 画像 👤 関係者

### 応募作品詳細（応募票）

🖨️ 応募票の印刷

#### i 作品情報

作品代表者 審査時非公開

① 作品のデザイン制作に携わった代表者1名。受賞した場合の「受賞者代表」となります。 [作品代表者について](#) ✕

所属	名前
株式会社SDA	サイン花子
SDA co., ltd.	Hanako Sign

作品名（漢字） SDA本社サイン計画

作品名（カナ） エスディーイーホンシャサインケイカク

作品名（英字） SDA Head Office Signage Plan

施設正式名称 デザイン意図

SDA本社ビル 日本サインの聖地、SDA本社のサイン計画。

SDA Head Office Building

作品所在地

東京都千代田区神田和泉町2-9

完成年月

2026年03月

分類選択-1

公共空間、特定空間

分類選択-2

表示、表札、案内、誘導、ユニバーサル、  
広告、プロモーション、ヴィジュアル・アイ  
デンティティ、ブランディング

🔗 作品情報の編集

## 支払手続(応募)

登録完了後は、[応募者ページ]から、[支払手続]に進んでください。複数の作品に応募する場合は、まとめて支払いができます。

支払手続済みの作品は、修正・編集が一切できません。手続き前に必ず内容をご確認ください。また支払手続完了後の返金は一切できませんので、ご注意ください。

応募サイトよりログインして「支払」より手続きします。



### 支払方法

支払方法はクレジットカード払い (Stripe決済システム) または銀行振込のいずれかになります。[支払手続]で選択できます。海外の銀行からの送金は受け付けておりません。クレジットカード払いを選択してください。

### クレジットカード

Stripe決済システムを利用して即時決済します。

クレジットカード払いを選択した上で、決済画面にてカード情報等を入力してください。

クレジットカード決済が完了すると、Stripe決済システムよりインボイス対応形式の領収書が発行されます。必ずダウンロードし保管してください。

クレジットカードの情報は、Stripeのみに開示され、当協会に知らされることはありません。



### 銀行振込

銀行振込を選択すると、エントリーサイトから自動で「応募料のお知らせメール」をお送りします。期日までにお振り込みください。

- ・応募期間終了後に順次インボイス対応形式の領収書を応募者宛にE-mailにてお送りします。お時間をいただく場合もありますが、順次対応いたしますので、ご了承ください。
- ・領収書の郵送はいたしません。



## 応募受付完了

募集締切日までに受付完了になった作品が審査対象となります。

クレジットカード決済の場合：即時

銀行振込の場合：事務局で入金を確認した時点

受付状態は[応募サイト](#)でご確認いただけます。

## 応募についての注意事項

### □二重応募の回避

応募者は二重応募（同一の作品を複数の応募者が応募すること）のないよう、事前に各関係者間で調整を図ってください。ただし、同一の施設であっても異なる視点からデザインされた場合には、同一のあるいは、異なる応募者が応募することは認められません。

### □応募者の責任に帰する事項

応募された全ての資料の著作権、画像使用权、出版権、工業所有権については応募者が責任を持って処遇・管理してください。なお、これらの許諾を得られない場合、受賞作品であってもSDAウェブサイト、『作品集』、『年鑑』に掲載することができません。「関係者」として撮影者の登録がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなします。また、写真使用料については、応募者と撮影者との間で解決した上で応募してください。

日本サインデザイン賞の応募対象に関する意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性等の要件及びその販売、施工等に関して生じた問題の責任については、応募者が負うものとし、主催者はその一切の責任を負いません。

日本サインデザイン賞への応募により、応募者、受賞者あるいはその他の第三者の間で生じた紛争については、主催者はその一切の責任を負いません。

### □応募の取り下げ及び失格

応募登録後、応募料が支払われない場合は、応募の取り下げとみなします。

また、応募者が「応募登録ガイド」並びに「日本サインデザイン賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその応募を失格とします。

### □受賞の取り消し

受賞者が、受賞発表後に「日本サインデザイン賞実施要綱」並びに「日本サインデザイン賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその受賞を取り消します。

また、受賞作品について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

- ・受賞作品が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。
- ・受賞作品が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。
- ・受賞者及び受賞作品に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。

## 個人情報保護に対する取り組み

SDAは個人情報取扱事業者としての義務を守り、運営に係る全ての個人情報を、以下のとおり取り扱います。

- ・個人情報の提供を受ける場合には、本人にその個人情報の利用目的をお知らせし、同意をいただきます。また、提供を受けた個人情報の利用に際しては、本人から同意をいただいた利用目的の範囲内で適切に行います。
- ・本人から同意をいただいた場合及び法令に基づき司法機関、行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合を除きご提供いただいた個人情報を第三者に預託、提供することはいたしません。
- ・内容が事実でないことを理由として本人の個人情報の削除、変更、修正の連絡があった場合は、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、合理的な期間内に情報を修正

し、維持・改善・管理します。

- ・個人情報の取り扱いに十分注意を払い、役員・運営委員、委員会や地区事業などの会務を担当する正会員及び事務職員に徹底します。

### □個人情報の利用目的

- ・日本サインデザイン賞応募登録者の個人情報について登録内容の確認
- ・応募された作品及び応募料決済、審査結果に関しての連絡
- ・贈賞式の案内
- ・SDA事業に関するEメールの送信
- ・その他日本サインデザイン賞運営に関する必要な範囲での利用



## [要綱・要領]

# 日本サインデザイン賞実施要綱

この要綱は、日本サインデザイン賞事業の概要をまとめたものです。

この要綱に基づき、以下の要領を定めています。

- ・日本サインデザイン賞応募要領
- ・日本サインデザイン賞審査要領

### 1) 日本サインデザイン賞とは

公益社団法人日本サインデザイン協会(以下SDA)が主催する日本サインデザイン賞(通称SDA賞)は、サインデザインの普及及び啓蒙を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた日本で唯一のサインデザインを対象とした顕彰事業です。

### 2) 日本サインデザイン賞の構成

SDA賞は、全応募作品の中から一次審査、二次審査、最終審査を経て以下の賞を授与します。

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞 1作品

全応募作品の中から、最も秀でたデザインと認めるもの。  
最終審査会にて決定。

日本サインデザイン金賞:4作品

全応募作品の中から、最も優れたデザインと認めるもの。  
最終審査会にて決定。

日本サインデザイン銀賞:15作品

全応募作品の中から、特に優れたデザインと認めるもの。  
最終審査会にて決定。

日本サインデザイン銅賞:30作品

全応募作品の中から、優れたデザインと認めるもの。  
最終審査会にて決定。

日本サインデザイン賞入選:100作品

全応募作品の中から、良好なデザインと認めるもの。  
一次審査会にて決定。

日本サインデザイン招待審査員賞:招待審査員の推薦による各1作品

すべての入賞作品の中から、招待審査員が選出するもの。  
最終審査会にて決定。

日本サインデザインSDA審査員賞:SDA審査員の推薦による各1作品

すべての入賞・入選作品の中から、招待審査員が選出するもの。  
最終審査会にて決定。

入賞(大賞・金賞・銀賞・銅賞)及び入選の作品数については最終審査会で決定します。

日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会会長賞:2点以内

SDA会員からの推薦により、主にサインデザインの普及・啓蒙に特別の功績のあった事業または活動に対して団体または個人を賞するもの。  
特別賞選考会にて決定。

地区デザイン賞:各地区5作品以内

各地区のサインデザインの啓蒙を目的として授与されるもの。

日本サインデザイン賞とは別に各地区のSDA会員による地区審査会にて決定。

### 3) 日本サインデザイン賞への応募

応募の受付期間は、2026(令和8)年4月1日(水)から5月29日(金)までとします。詳細は、「日本サインデザイン賞応募要領」(以下SDA賞応募要領)に定めます。

### 4) 審査

審査は、提出された作品の分類、デザイン意図、画像(映像)を審査資料とし、応募者・関係者を秘匿した状態で行います。

- ・一次審査

ウェブ審査システムを使用して行います。全応募作品の中から上位150

作品を一次審査通過作品として選出します。

- ・二次審査

審査員を招集した審査会を開催します。一次審査通過150作品から入賞候補50作品を選出します。

- ・最終審査

審査員を招集した会場での審査会を開催します。最終審査では、入賞候補50作品の中から日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞、日本サインデザイン金賞、日本サインデザイン銀賞、日本サインデザイン銅賞を決定します。各賞の作品数については最終審査で決定します。

また招待審査員の推薦による招待審査員賞を各1作品選出します。

- ・特別賞選考

特別賞として推薦された作品等の資料、推薦者による説明及び質疑応答を経て、合議によって2点以内を決定します。

- ・地区デザイン賞審査

最終審査後に地区代表幹事によって招集され、地区会員の合議により各地区に所在する作品から5作品以内を地区デザイン賞として選出します。地区の区分は下記の通りとします。

北海道地区:北海道

東北地区:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地区:茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

中部地区:富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地区:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地区:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地区:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地区:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄地区:沖縄県

### 5) 審査員

主催者は、日本サインデザイン賞の趣旨を理解し豊富なデザイン経験等を有するSDA会員並びにSDAが委嘱する招待審査員からなる審査委員会を設置し、審査を託します。審査会は、一次審査、二次審査、最終審査それぞれで審査員を構成し、最終審査会はすべての賞を確定する権限を有します。審査会は、審査員長であるSDA会長が統括します。審査員はP-03に記載します。

### 6) 審査基準

- ・社会性:景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。
  - ・情報性:発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。
  - ・先進性:発想、製作、プロセス等においてこれまでにない新しい取り組みを評価する。
  - ・審美性:造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。
- 上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮を求められます。

### 7) 審査日程

- ・一次審査:2026(令和8)年6月5日(金)から6月14日(日)
- ・二次審査:2026(令和8)年6月19日(金)
- ・最終審査事前採点:2026(令和8)年6月24日(水)~7月1日(水)
- ・最終審査:2026(令和8)年7月4日(土)
- ・地区賞審査:2026(令和8)7月10日(金)~19日(日)

### 8) 審査結果の公式発表

主催者は受賞者に通知すると共に、SDAウェブサイトでは審査結果を発表します。受賞者は、この発表日をもって受賞結果を公表することができます。

#### 9) 日本サインデザイン賞の表彰

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞には、経済産業省より賞状とトロフィーが授与されます。

主催者は日本サインデザイン金賞・銀賞・招待審査員賞には賞状とトロフィーを授与し、銅賞・入選・地区デザイン賞には賞状を授与します。

日本サインデザイン特別賞は、公益財団法人日本デザイン振興会より賞状が授与されます。

10) 『第60回日本サインデザイン賞作品集』(以下『作品集』)の発行  
SDAの編集による『作品集』を発行します。受賞作品の代表者並びにクライアントに各1部贈呈します。

11) 『年鑑日本の空間デザイン2027 ディスプレイ・サイン・商環境』  
(以下『年鑑』)の刊行

『年鑑』が、2026年12月(予定)に発行されます。『年鑑』の編集は、株式会社六耀社及び空間デザイン機構の組織団体であるSDA、一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)からなる年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。

#### 12) 日本サインデザイン賞の広報活動

主催者は受賞作品を通じて、サインデザインの普及及び啓発を図るために広報活動を展開します。デザインに関する関連団体と協調し、優れたデザインを広く国内外に発信する活動をします。

#### 13) 日本サインデザイン賞にかかる費用

応募者は「SDA賞応募要領」に定める費用を負担します。  
賞状及びトロフィーは、受賞関係者に限り有償にて追加発行が可能です。

#### 14) 情報の公開

主催者は応募者から提供された情報のうち、あらかじめ指定する情報をSDA賞の広報のために使用することがあります。

主催者と審査委員会は、受賞に至らなかった対象を含め、個別の審査内容に関する情報の開示請求には対応しません。詳細は、「SDA賞応募要領」に定めます。

#### 15) 応募作品情報の守秘義務

主催者、審査委員及び審査会等業務の関係者は、応募作品についての非公開情報や審査等を通じて得られた秘密情報について守秘義務を負います。

#### 16) 応募者の責任に帰する事項

応募された全ての資料の著作権、画像使用权、出版権、工業所有権については応募者が責任を持って処遇・管理してください。なお、これらの許諾を得られない場合、受賞作品であってもSDAウェブサイト、受賞作品集、年鑑に掲載することができません。「関係者」として撮影者の登録がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなします。また、写真使用料については、応募者と撮影者との間で解決した上で応募してください。

日本サインデザイン賞の応募作品に関する意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性等の要件及びその販売、施工等に関して生じた問題の責任については、応募者が負うものとし、主催者はその一切の責任を負いません。日本サインデザイン賞への応募により、応募者、受賞者あるいはその他の第三者の間で生じた紛争については、主催者はその一切の責任を負いません。

#### 17) 応募の取り下げ及び失格

応募登録後、審査費用が支払われない場合は、応募の取り下げとみなします。

また、応募者が「応募登録ガイド」並びに「SDA賞応募要領」に定める事項に

違反した場合、主催者はその応募を失格とします。

#### 18) 受賞の取り消し

受賞者が、受賞発表後に本要綱並びに「SDA賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその受賞を取り消します。また、受賞作品について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

- ・受賞作品が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。
- ・受賞作品が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。
- ・受賞者及び受賞作品に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。

#### 19) 主催及び後援

主催：公益社団法人日本サインデザイン協会

後援(予定)：経済産業省／公益財団法人日本デザイン振興会／日本商工会議所／日本経済新聞社／一般社団法人日本屋外広告業団体連合会／一般社団法人日本空間デザイン協会／一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会／一般社団法人日本商環境デザイン協会／公益社団法人日本サイン協会／公益社団法人商業施設技術団体連合会／一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会／公益社団法人全日本広告連盟／公益社団法人日本アドバイザーズ協会／公益社団法人日本グラフィックデザイン協会／公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会／特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会(順不同)

#### 20) 個人情報保護に対する取り組み

SDAは個人情報取扱事業者としての義務を守り、運営に係る全ての個人情報を、以下のとおり取り扱います。

- ・個人情報の提供を受ける場合には、本人にその個人情報の利用目的をお知らせし、同意をいただきます。また、提供を受けた個人情報の利用に際しては、本人から同意をいただいた利用目的の範囲内で適切に行います。
- ・本人から同意をいただいた場合および法令に基づき司法機関、行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合を除き、ご提供いただいた個人情報を第三者に預託、提供することはいたしません。
- ・内容が事実でないことを理由として本人の個人情報の削除、変更、修正の連絡があった場合は、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、合理的な期間内に情報を修正し、維持・改善・管理します。
- ・個人情報の取り扱いに十分注意を払い、役員・運営委員、委員会や地区事業などの会務を担当する正会員および事務職員に徹底します。

#### 21) 個人情報の利用目的

- ・日本サインデザイン賞応募登録者の方の個人情報について登録内容の確認
- ・応募された作品および、応募料決済、審査結果に関しての連絡
- ・贈賞式の案内
- ・SDA事業に関するEメールの送信
- ・その他SDA賞運営に関する必要な範囲での利用

2026(令和8)年4月1日

※2026年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

## [要綱・要領]

# 日本サインデザイン賞応募要領

この要領は、第60回日本サインデザイン賞(通称SDA賞)の応募にあたり必要な事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

1. 応募対象作品、応募者、関係者
2. 応募方法
3. 日本サインデザイン賞に関わる費用
4. 応募の手続き
5. 審査開始から結果発表まで
6. 応募に関する注意事項

### 1. 応募対象作品、応募者、作品代表者と関係者

#### 1-1. 応募対象作品

応募対象作品は、国内外問わず、2025(令和7)年5月1日から2026(令和8)年4月30日までの1年間に完成したサインとします。

#### 1-2. 応募者

応募の資格を有する応募者は、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方とします。ただしデザインまたは制作に携わった方の所属する法人が定める事務手続き上の代理者も応募者として登録できます。

#### 1-3. 作品代表者と関係者

受賞した場合、作品代表者が受賞者になります。作品のデザイン制作に携わった代表者1名を登録してください。

関係者とは、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方、作品の発注者及び応募画像の撮影者が該当します。「ディレクション」、「デザイン」、「クライアント」、「施工」、「撮影」に該当する方を、必ず登録してください。前述以外の職能(役割名)を登録することも可能です。関係者は最大15名(社)が登録できます。

#### 1-4. 応募者の義務

日本サインデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の義務を負うものとします。これらの義務が実行されなかった場合、主催者は当該応募作品の応募を失格とします。

- ・主催者が希望する審査資料の提出
- ・応募対象が受賞した場合の公開用情報の提供及び『作品集』・『年鑑』への掲載
- ・「3.日本サインデザイン賞に関わる費用」に記載する審査料等費用の「4.応募等の手続き」に記載する期日までの支払い

### 2. 応募方法

応募者は、主催者が用意するウェブサイト(以下「エントリーサイト」)を通じて定められた期間内に応募対象作品や関係者の登録、審査用画像データ等のアップロード等所定の手続きを行なってください。

なお主催者は、日本の法律や公序良俗に反するなど、SDA賞の趣旨や目的に合致しないと判断するものについては、応募を受理しない場合があります。

### 3. 日本サインデザイン賞に関わる費用

日本サインデザイン賞に関わる費用は、以下の通り定めます。価格は全て税込みです。振込手数料等の支払いにかかる別途費用は応募者がこれを負担します。

#### 3-1. 応募料

応募料は、1作品につき¥11,000(本体¥10,000+消費税¥1,000)です。応募料にはデザイン意図(コンセプト)と2点の画像データの審査料を含みます。3点以上の画像データを提出する場合、1点につき¥1,650(本体¥1,500+消費税¥150)の追加審査料が加算されます。

映像データを提出する場合、1点につき¥19,800(本体¥18,000+消費税

¥1,800)の追加審査料が加算されます。すべての応募料、審査料には消費税10%がかかります。

#### 3-2. 賞状の追加作成

受賞作品の作品代表者とクライアントのおのにおに賞状を授与いたします。応募時に関係者として登録された方々に限り追加の賞状のお申込が可能です。追加作成費用は1枚につき¥4,400(本体¥4,000+消費税¥400)です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

#### 3-3. トロフィーの追加作成

金賞・銀賞・招待審査員賞の各受賞作品には作品代表者にトロフィーを授与いたします。応募時に関係者として登録された方に限り追加のトロフィーのお申込が可能です。追加作成費用は一基につき¥33,000(本体¥30,000+消費税¥3,000)、授与と同じ表記の場合は一基につき¥27,500(本体¥25,000+消費税¥2,500)です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

大賞・経済産業大臣賞のトロフィーの追加作成はできません。

#### 3-4. 贈賞式の参加

受賞者には贈賞式のご案内を送付します。内容に従って出欠のご連絡をお願いします。懇親会が開催される場合の参加費用については、実施のご案内と共にお知らせします。

#### 3-5. 『第60回日本サインデザイン賞作品集』

受賞作品の作品代表者とクライアントのおのにおにSDA発行の『作品集』を贈呈します。追加のご購入が可能です。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

3-6. 『年鑑日本の空間デザイン2027 ディスプレイ・サイン・商環境』六耀社  
SDAでは特別価格にて販売しております。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

### 4. 応募の手続き

日本サインデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の手続きを行います。

#### 4-1. 応募段階での手続き

応募者及び応募作品に関する情報の登録

応募者は、応募作品についての審査用情報をエントリーサイトで登録します。応募期間は2026(令和8)年4月1日から2026(令和8)年5月29日までとします。上記期間内にエントリーサイト上で情報の登録を行い、応募を確定します。

#### 4-2. 応募料の支払

応募料はエントリーサイト上の[支払手続]から、クレジットカード払いまたは銀行振込でお支払いください。支払が完了した時点で応募作品が正式に登録されたこととなります。支払期限は、6月1日(月)とします。

### 5. 審査開始から結果発表まで

すべての審査は応募者、作品制作関係者を秘匿した状態で行われます。応募登録された作品名・画像(映像)・作品の分類・デザイン意図が審査員に公開されます。

#### 5-1. 一次審査

一次審査は、2026(令和8)年6月5日(金)から6月14日(日)までの期間にウェブ審査システムを使用して行われます。

全応募作品の中から上位150作品を一次審査通過作品として選出します。

#### 5-2. 一次審査結果の通知

主催者は、一次審査通過作品の応募者に一次審査通過と共に「関係者情報」の訂正期間と訂正方法を通知します。

「関係者情報」は、公開情報となる結果発表資料、賞状やトロフィーの表記、作品集や年鑑掲載の表記内容として反映されるため、登録内容の最終確認や誤字脱字を訂正していただくために設けております。訂正期間を過ぎてからの変更には一切応じられませんのでご注意ください。

### 5-3. 二次審査

二次審査は、2026(令和8)年6月19日(金)に審査員を招集した審査会を開催します。一次審査通過150作品から入賞候補50作品を選出します。

### 5-4. 最終審査

最終審査は、2026(令和8)年7月4日(土)に公開審査会として開催します。二次審査で選出された入賞候補50作品について、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって各賞を確定します。

### 5-5. 最終審査結果の通知

主催者は、入賞作品の応募者に通知します。

### 5-6. 審査結果の公式発表

主催者は、最終審査の結果を経済産業大臣に所定の手続で報告し、受理された後に全応募者に対してご連絡します。同時にSDAウェブサイトで公開します。発表時期は2026(令和8)年9月初旬の予定です。

### 5-7. 『年鑑日本の空間デザイン2027 ディスプレイ・サイン・商環境』(以下『年鑑』) 編集用の情報提供

主催者は六耀社に『年鑑』の編集協力のため審査結果と共に作品情報として「作品名・所在地・完成年月・関係者・デザイン意図・応募画像」を提供します。六耀社は入賞者に、高解像度版画像データの請求や掲載情報の確認をしますのご協力ください。

### 5-8. 受賞後の手続き

主催者は受賞者並びに全応募者に結果発表資料のほか、以下のご案内を順次送付します。

- ・賞状の追加申込(対象:入賞、招待審査員賞、入選、地区賞の受賞者)
- ・トロフィーの追加申込(対象:金賞、銀賞、招待審査員賞の受賞者)
- ・贈賞式の開催案内(対象:入賞者)
- ・『作品集』、『年鑑』の購入(対象:全応募者)

受賞者は結果発表後、自社のホームページ等での公表・公開が可能です。公開資料等で、SDA並びに日本サインデザイン賞のロゴデータをご使用希望の場合は、SDA事務局にお問合せください。

## 6. 応募に関する注意事項

### 6-1. 同一作品の複数応募

原則として、1作品1応募としますが、視点を変えた複数応募(例:「建築環境」と「サインシステム」など)は可とします。

特に作品代表者が異なる場合は、以下をご調整の上応募してください。

- ・作品名は異なる視点での応募とわかるように違いを付けること
- ・それぞれのデザイン意図で応募すること
- ・視点の違いがわかる異なるモチーフ、異なるアングルの写真で応募すること。

また、同一作品がそれぞれ受賞した場合、SDAウェブサイト、『作品集』、『年鑑』に掲載される写真については編集者がセレクトすることをご了承ください。

### 6-2. 審査用画像、映像

応募する作品画像データ、映像データは、常識的な範囲での補正(露光や、色温度の微調整、トリミング等)と、応募規定ファイルサイズに合わせるための画素数や圧縮率の変更を除き、一切の加工を行ってはなりません。デジタル加工などを施して、実際の作品と異なる画像・映像による「虚偽」の応募が判明した場合は、審査終了後であっても失格処分とします。

審査用画像、映像、デザイン意図の中には、応募作品に含まれる場合を除き、応募者名・作品制作関係者名は、これらを想起させるロゴマーク等を含み、一切表示しないでください。違反した作品は、失格処分とする場合があります。

### 6-3. 失格と判断された応募対象の扱い

応募作品について、前項の違反並びに盗作などの事実が確認された場合は失格となります。失格理由については通知せず、審査料等の返却は行いません。

### 6-4. 応募の取り下げ

応募登録後、審査費用が支払われない場合は、応募を取り下げとみなし審査はいたしません。また支払い後、応募者からのお申し出による取り下げの場合は、これを受理し、審査料等の返却は行いません。

### 6-5. 権利の帰属

応募者が登録した作品に関する情報の著作権は応募者に帰属します。ただし、以下の項目で応募のデータを使用する権利をSDA、空間デザイン機構年鑑刊行委員会、六耀社に付与していただきます。

- ・SDAが実施する賞の審査及び受賞内容の告知、広報等を含めた活動
- ・SDAが編集、発行する『作品集』およびその他の刊行物への掲載
- ・SDAの広報およびウェブサイトへの掲載
- ・SDAが主催、関与する展示会やセミナーでの発表
- ・六耀社が発行する『年鑑』への掲載
- ・上記の実施、活動のためのデジタルデータ記憶媒体へ収録

### 6-6. 情報の公開

主催者は、応募者が登録した作品に関する情報について、以下により情報公開を行います。

- ・SDAウェブサイト
- ・SDA賞エントリーサイト
- ・SDAが利用するSNS

2026(令和8)年4月1日

※2026年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

## [要綱・要領]

# 日本サインデザイン賞審査要領

この要領は、日本サインデザイン賞(以下SDA賞)の審査にあたり必要とされる事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

1. 審査会の設置
2. 審査会の役割
3. 審査員の委嘱
4. 審査員の規範
5. 審査基準

### 1. 審査会の設置

主催者は、日本サインデザイン賞の開催要綱に基づき厳正な審査を行い、日本サインデザイン賞、日本サインデザイン特別賞を決定するため、審査会を設置します。それぞれの審査会は以下のような審査員で構成されます。審査員長はすべての審査会を統括し、審査員長に事故がある場合は副審査員長がこれを代行します。

一次審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員、地区審査員で構成。

二次審査会：二次審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員で構成。

最終審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員、招待審査員で構成。

特別賞選考会：審査員長が招集し、審査は財団法人日本デザイン振興会理事長、審査員長、副審査員長、SDA審査員で構成。

地区賞審査会：SDA各地区の代表幹事が招集し、地区審査員、代表幹事が指名する地区会員で構成。

### 2. 審査会の役割

#### 一次審査会

すべての応募作品について審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。定められた期間内にウェブ審査を行い5段階での採点及び失格の判定を行います。全応募作品の中から上位150作品を一次審査通過作品として選出します。

#### 二次審査会

一次審査通過150作品から審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。合議によって入賞候補50作品を選出します。

#### 最終審査会

二次審査で選出された入賞候補50作品の中から、審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。5段階での採点の後、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって確定します。各賞の数は、大賞1作品、金賞4作品、銀賞15作品、銅賞30作品を目安とし、最終審査で決定します。合議による確定が難しい場合は、審査員長がこれを決定します。招待審査員は招待審査員賞を選定します。

#### 特別賞選考会

特別賞として推薦された作品等の資料に基づき、合議によって2点以内を決定します。

#### 地区賞審査会

地区賞審査は二次審査後に地区代表幹事によって招集され、地区会員の合議により各地区に所在する作品から5作品以内を地区デザイン賞として選出します。

### 3. 審査員の委嘱

以下の審査員が、審査員長によって委嘱されます。

- ・SDA審査員：サインデザインについての豊富な経験と知見があり、公正かつ的確な判断力を有すると認められたSDA会員
- ・招待審査員：SDA賞の趣旨を理解し、専門分野におけるデザイン経験や社会への影響力が優れていると認められた有識者
- ・地区審査員：SDA各地区（北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄）の代表幹事（理事）ならびに各地区代表幹事が選出した地区会員

委嘱期間は、2026（令和8）年4月1日から2026（令和8）年12月31日までとします。

### 4. 審査員の規範

審査員自身が関与した対象の審査

審査員長を含むすべての審査員は、審査員自身がデザインまたはコンサルティングした審査対象の審査に際し、関連情報の提供を含め、当該対象の審査に関することはできません。採点においては棄権とし、合議には加わることができません。

#### 審査情報に関する守秘義務

審査員長を含むすべての審査員は、審査開始以前に主催者に守秘義務に関わる誓約書を提出します。審査対象に関わる機密情報、審査経緯等審査を通じて知り得た秘密情報を第三者に漏らすことは、一切禁じられています。

#### 特別賞の推薦

SDA審査員、地区審査員は特別賞の候補について、自ら推薦並びに候補作品についての推挙を行うことができます。

### 5. 審査基準

次の審査基準が定められています。

- ・社会性：景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。
- ・情報性：発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。
- ・先進性：発想、製作、プロセス等においてこれまでにない新しい取り組みを評価する。
- ・審美性：造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。

上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮が求められます。

2026（令和8）年4月1日

※ 2025年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

日本サインデザイン賞についてのお問合せ先

公益社団法人日本サインデザイン協会

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2-9富士セルビル3F

Email : [info@sda-award.org](mailto:info@sda-award.org)

<https://sda-award.org/contact>

2026年4月1日発行